

原始火おこし(ひもぎり式、まいぎり式)

自然体験



- ねらい** 火を手に入れる困難さを知ります。仲間と協力する大切さに気付きます。
- 対象** 小学生から成人まで
- 人数** 50名程度
- 時間** 1時間 ～ 2時間
- 場所** 体育館、工作広場など
- 準備** 敷き板 麻布 火きり板 麻紐 針金 金属カップ
ろうそく ろうそく立て ランプ 火おこし器
押さえ板 火きり棒 紐 彫刻刀 のこ

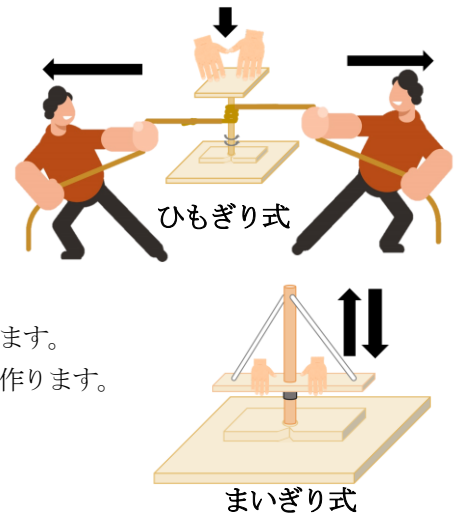
事前準備

- まいぎりは3～5名、ひもぎりは5～6名程度の活動班を決めます。
- 各自軍手をご準備ください。

実際の活動

●用具の準備

- ・火きり板を作ります。(1枚400円で購入可能)
のこぎりで、三角形の切り口を4か所程度入れ、「火種床」を作ります。
火種床の頂点部分に0.5～1cm程度の窪み(ホール)を、彫刻刀で作ります。
- ・麻紐を綿状になるまでほぐします。
- ・敷き板の上に、麻布、火きり板の順に乗せます。



●火おこしの方法 (ひもぎり式、まいぎり式)

ひもぎり式	まいぎり式
<ul style="list-style-type: none"> ・火きり板のくぼみに火きり棒の先端を垂直にあて、上から押さえ板で固定します。 ・火きり棒に紐を2～3回程度巻きつけます。 ・火きり板の両端を押さえつけしっかり固定し、押さえ板は上から徐々に力を加え、紐は交互に引っ張ります。 左右に紐を引っ張ることで火きり棒が回転します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・火きり弓を回して、軸棒に紐を巻き付ける。 ・火きり弓を下に押し、紐が巻き戻る反動で火きり弓を上にもゆるめる。
<div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-bottom: 10px;"> <div style="text-align: center;">↓</div> <div style="text-align: center;">↓</div> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・煙が強くなり、火種床にたまった「黒い粉」から煙が出てきたら回転を止めます。 ・火種の上に麻紐を優しく乗せ、麻布で包み、針金付きクリップで挟みます。 針金の端を持ち、揺らして風を送ります。(敷板の上に金属カップを置き、その上で行ってください。) ・発火したら金属カップに針金ごと置き、ろうそくに火をつけます。 ・ランプの開閉レバーをあげ、ろうそくの火をランプの芯に灯します。 	

用具の後片付けと清掃

- ・火を沈下し、やけどに注意して使用した用具を所定の場所に戻し、活動場所を清掃してください。

留意点

- 火種を扱うときは、必ず軍手をはめて行ってください。
- 火種床、火きり棒の先端、金属カップは熱いので触らないでください。

アクティビティ(活動)の流れ